



いのちのはじまり

子育てが未来をつくる

世界の子育て最前線！

すべての子供に、素晴らしい人生のスタートを。

それが平和で創造的な社会を築く一番の近道。

そのための子育ての方法は1つじゃない。

世界中、いろんな環境下での、

いろんな育児を見つめたドキュメンタリー。

血のつながりがなくても親子



いろんな"家族"のかたち



祖父母にも役割がある



コミュニティで支え合う



監督：エステラ・ヘネル 制作：マリア・ファリナ・フィルムズ
 提供：マリア・セリア・ソート・ビシガル財団、バーナード・バン・リー財団、アラナ協会、ユニセフ
 後援：アショカ、世界銀行グループ、UBSオプティマス財団、ジョンソンズ、ハーズ、ナチュラ、
 アミル、ボンボン、TAMブラジル航空
 配給：アップリンク 協力：日本ユニセフ協会
 (2016年/ブラジル/96分/カラー/16:9/DCP/原題：O Começo da Vida)



世界には、いろんな育児のかたちがある。子供の成長に本当に必要なものとは？

人格の土台が形成される乳幼児期(生後～就学前)の脳では、毎秒700個から1000個もの神経細胞が新たに活性化しています。この神経細胞同士の接続によって脳は発達し、後の健康や精神的な幸福、学習能力が決定づけられます。

神経細胞の接続でもっとも重要なのは、大人との相互作用。つまり、乳幼児たちに安全で愛情に満ちた発達環境を与えることができれば、成人してから社会に貢献し、より良い世界を築く最善の可能性が生まれます。

本作は、世界9カ国で家族や育児現場取材し、さまざまな文化・民族・社会的背景における子育ての今を伝えます。さらに、早期幼児教育の専門家たちへのインタビューを織り交ぜながら、親をはじめ子育てに関わる周囲の大人たちが、安心して育児に取り組める公共政策の必要性を訴えます。

世界的ファッションモデルのジゼル・ブンチェンや、ノーベル経済学賞受賞歴もあるシカゴ大学のジェームズ・ヘックマン教授、ユニセフ本部でECD世界キャンペーン*を統括するピア・ブリット氏、先進的な幼児教育で注目を集めるイタリアのレッチョ・エミリア市の保育者らも出演。彼ら自身の経験と研究に基づいたメッセージが胸に迫ります。

* ECD=Early Childhood Development(乳幼児期の子供の発達)



子供を育てることは大人を育てることでもある、子どもと大人の愛情に満ちた相互作用が子供の脳を育てるとともに、大人のこころを成長させる。子育ては社会の可能性と未来への投資なのだ。

国境を越え、文化の違いを超えたこの事実が専門家たちの研究を通しての意見や子育てをする母親や父親の姿から説得力を持って胸に迫る。地道に行われた取材に基づく貴重な映像に感銘を受けた。

— 海原純子(心療内科医/日本医科大学特任教授)



あったらいいなの子育て支援

特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ

パレット 20周年

令和元年 12月22日(日)

午前の部；10時30分～12時 親子で遊ぼう！

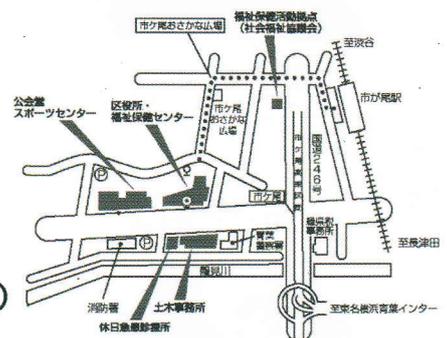
ハンドメイドワークショップ & プレイスペース(けん玉・おもしろ積み木 etc.)

午後の部；13時15分～15時(開場：12時45分より)

記念式典・映画上映「いのちのはじまり」〈字幕〉

場所：青葉公会堂 参加費：無料 申し込み：必要

お申し込みは、TEL/FAX:045-975-2309 又はメール：palette2000@gaia.ocn.ne.jp までお願いします。



(東急田園都市線「市が尾駅」から徒歩約8分
東急・小田急・神奈川バス「青葉区総合庁舎」)